

あの人気漫画にも登場しました!!

旭川からレンタサイクルで行く 軍都から発展した旭川を巡るルート

明治末期最大の師団(第七師団)を抱える軍都から、 北海道第2の都市までに発展した旭川を作り上げた先人の 歴史を学ぶルートを自転車で巡ろう!!

【北鎮記念館まで自転車で約20分(3.7km)】
【旧旭川偕行社まで自転車で約35分(7.2km)】

川村カトアイヌ記念館でアイヌの文化と歴史を学ぼう!

上川地方を代表するアイヌの旧家として知られる川村家第8代川村カト(かねと)が生前アイヌ民族文化の正しい伝承を目的として大正5年に作った日本最古で唯一の私立のアイヌ資料館。アイヌの文化や習慣を伝える生活用品など貴重な資料が数多く展示されています。また、測量技師時代の測量機材や資料も展示しており、川村カト氏が測量技師として多くの業績を残したことを垣間見ることができます。屋外にはササを葺いたチセ(アイヌ語で家の意味)があり、チセでのアイヌの生活が体感できます。また、敷地内にはアイヌ民芸品を扱う売店も併設されています。

なぜ旭川は北海道第2の都市まで発展できたのか

明治29年(1896年)に札幌の月寒で誕生した第七師団。北辺警備の観点と旭川が北海道交通の要所であったことなどを理由に、明治34年に現在の旭川へと移駐しました。これに伴って、函館本線・滝川～旭川間の鉄道が開通したことなどから、呉服店・旅館・染工場を始め、雑貨屋や飲食店などが次々と旭川で創業しました。それにより3,600人ほどだった人口がわずか5年のうちに17,000人と急増。そして旭川は「軍都」とよばれるようになり、明治末期には約33,000人規模の町となっていきました。

旭川に天皇陛下が住むはずだった!?

明治15年(1882年)頃に岩村通俊、さらに明治22年(1889年)頃には永山武四郎が、上川に「北京(北の都の意)を置く意見書」を内閣へ提出しました。しかし、北海道に東京と並ぶ首都機能を置くことはできないと政府から反対された為、旭川には離宮(皇室別邸)として設置することが閣議決定されましたが、道庁がある札幌を始めとする地区からの猛反発が。残念ながら旭川に離宮の設置はあと一步のところで実現しませんでした。

旭川電気軌道春光車庫は旧第七師団覆馬場。旧陸軍第七師団の大規模施設の一つで、明治末期につくられた積雪時に軍馬を訓練するための施設です。各連隊に一つずつ配置されていましたが、現存するのはこの1棟のみ。現在は現在は農業用肥料の倉庫として活用されています。

旭川市彫刻美術館
旧陸軍第七師団の旭川偕行社として使用されていた建造物。現在は、中原悌二郎が残した12点の彫刻のほか、旭川市が昭和45年に悌二郎の偉業を顕彰し、日本彫刻界の発展に寄与する目的で創設した中原悌二郎賞の受賞作品等を所蔵しています。
【住所】北海道旭川市春光5条7丁目5
【入館料】一般450円・高校生300円・中学生以下無料
【TEL】0166-51-6111【閉館時間】9:00～17:00
【休館日】月曜日(月曜祝日の場合翌日)

北鎮記念館
かつて軍都として栄えた旭川をしのばせる、屯田兵と師団に関する資料が展示されている記念館。屯田兵による開拓時代のものから、旭川に設置されていた旧陸軍第七師団の歩みなど、北海道の開拓と防衛の歴史を物語る大変貴重な資料約2,500点が収蔵・展示されています。
【住所】旭川市春光町陸上自衛隊旭川駐屯地隣り
【入館料】無料【TEL】0166-51-6111
【閉館時間】夏期(4月～10月)9:00～17:00
冬期(11月～3月)9:30～16:00
【休館日】月曜日(月曜祝日の場合翌日)

第七師団とは?
屯田兵を母体とし、明治29年(1896年)に編成された北海道に置かれた常備師団。大日本帝国陸軍の師団の中でも北辺の守りを担う重要師団とされていました。初代師団長は永山武四郎。
※1. 明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士とその部隊
※2. 明治4年～昭和20年まで日本に存在していた軍隊組織

旭川観光物産情報センターからSTART!!

旭川観光物産情報センターからSTART!!

偕行社って何をするとこ?

第七師団は札幌市から旭川市に配置を移すこととなったため、師団の生活する家屋とともに、**将校たちの社交場**「旭川師団将校集会所」として明治35年(1902年)に建設されました。木造二階建てで半円形の玄関など、当時の北海道としては珍しい先進的なコロニアルスタイルの建築物でした。この建物は、師団将校達へ向けた**集会所・社交場や迎賓館**となる目的で建設されたもので、**大正天皇や昭和天皇の行在所**としても使用されました。第二次世界大戦終戦当時はアメリカ軍の将校達が集まる将校クラブとして使用された時期もあり、平成6年(1994年)から「旭川市彫刻美術館」として利用されています。なお平成元年(1989年)5月19日、その建物の歴史やデザインなどが認められ、**旭川初の国の重要文化財**に指定されています。

第七師団と平和通買物公園のつながり

明治33年(1900年)頃、旭川駅前から旭橋を經由して第七師団まで通じる道路は、「師団通」と呼ばれるようになっていきました。徐々に師団通における人馬往来も多くなり、旭川のメインストリートに成長。明治39年(1906年)には師団通に上川馬車鉄道が開通。大正8年(1919年)まで運行されました。昭和20年第二次世界大戦の終戦に伴い第七師団は解体。「師団通」の名称は同年10月、「平和通」と改められ、昭和47年(1972年)に日本初の恒久的な歩行者天国は「平和通買物公園」となりました。

- A 近藤染工場**
職人の手で、ひと刷毛ひと刷毛、心を込めて刷られていく創業以来117年間受け継がれてきた(刷毛引き本染め)を伝える全国的にも数少ない染物工場。
北海道旭川市1条通3丁目右1
8:00～17:00
日曜・祝日
0166-22-2255
- B キッコニーホン**
直売店では約80種全ての商品が味見でき、醤油飴やかりんとうの他、醤油を絞るときに使った布で作ったバックもあります。
北海道旭川市曙1丁目
10:00～17:30
年未年始
0166-22-1471
- C 旭川らーめん 一蔵**
自慢のスープは、選り抜いた豚骨と数種類の野菜をじっくり煮込み、素材の旨みをあますことなく引き出しています。メニューは青々としたネギがたっぷりの一蔵ラーメン等。
北海道旭川市3条通7丁目329 山田ビル階
18:00～翌2:00
※金・土・祝前日は18:00～翌4:00
不定休
0166-24-8887
- D 生姜ラーメン みづの**
創業から半世紀近くにわたり愛される名店です。醤油の有名店が軒を連ねるなか、看板メニューの生姜で勝負し続け、今では市外や道外からも多くのファンが訪れます。
北海道旭川市常盤通2丁目
【日外】10:30～14:00/17:00～18:30
【日曜】11:00～17:00
不定休
0166-22-5637
- E 福吉カフェ 旭橋本店**
歴史的な建物のお洒落なカフェ。看板メニューはあんこと抹茶のドリンクの「福吉茶」と旭川のシンボル・旭橋の形をした「トキワ焼き」。
北海道旭川市常盤通2丁目1970-1
9:30～18:00
無休
0166-85-6014
- F 一久大福堂**
産地にこだわった良質な素材を使い、そこから「こだわり」を感じさせる商品づくりで、お客様に本物のおいしさを提供いたします。
北海道旭川市旭町2条3丁目11-103
8:00～18:00
なし
0166-51-1932
- G 羅亜～麺 加藤屋**
豚骨のコクを十分に引き出しながら、まるやかでクセのないスープと、噛むほどに広がるホルモンの旨みが相性抜群。低加水率の中細ストレート麺。
北海道旭川市北門町9丁目2644-6
11:00～21:00(LO 20:30)
なし
火曜
0166-56-6646
- H 川村カトアイヌ記念館**
上川地方を代表するアイヌの旧家として知られる川村家第8代川村カト(かねと)が生前アイヌ民族文化の正しい伝承を目的として大正5年に作った日本最古で唯一の私立のアイヌ資料館。
北海道旭川市北門町11丁目
9:00～17:00
7～8月は18:00まで営業
無休
0166-51-2461
- I 旭川ラーメンさいじょう**
ラーメンの他に定食やランチセットなどもございます。ランチタイムには、ラーメンセットがオススメ!塩ラーメンの通常料金で、ライスにおかずも付いてくる!
北海道旭川市春光1条8丁目2-18
11:00～15:00
17:00～20:00
木曜
0166-55-1698